

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
第5学年	体づくり運動④ (ほぐし)	陸上運動⑮ (短距離走・リレー・ハードル走・走り高跳び)	保健③ 「心の健康」 表現運動④ (フォークダンス)	水泳⑩ (クロール・平泳ぎ)	表現運動⑤ (表現)	器械運動⑦ (鉄棒)	保健⑤ 「けがの防止」	ボール運動⑳ (ゴール型)	体づくり運動⑧ (柔らかく・巧み)	器械運動⑨ (マット)	

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第5学年		体づくり運動⑨ (ほぐし③・巧み⑥)		水泳①	保健③ 「心の健康」	保健⑤ けがの防止	表現運動⑧ (表現・フォークダンス)	陸上運動⑨ (短距離走・リレー・ハードル走)	ボール運動⑱ (ゴール型)	器械運動⑦ (鉄棒)	器械運動⑧ (マット)	陸上運動⑤ (走り高跳び)

※基本的に水泳の実技は扱わない。水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

不安や悩みの対処を行えるよう指導する。(技能)

自らできる簡単なけがの手当ができるよう指導する。(技能)

区球技大会を想定して、11月にボール運動(ゴール型)を設定した。サッカーとバスケットボールを扱うこととする。

「器具や用具を共用する必要がある単元は、実施をなるべく後に回すよう配慮した。」

領域及び領域の内容	学習指導要領に示された内容				時数		
	内容の取扱い	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	当初の予定	再編成後	
A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	二学年にわたって指導すること(5学年、6学年の両方で実施)	○	○	○	4	3
	イ 体の動きを高める運動		○	○	○	8	6
B 器械運動	ア マット運動	児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる	○	○	○	9	8
	イ 鉄棒運動		○	○	○	7	7
	ウ 跳び箱運動		○	○	○	0	0
C 陸上競技	ア 短距離走・リレー	児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる	○	○	○	5	5
	イ ハードル走		○	○	○	5	4
	ウ 走り幅跳び		○	○	○	0	0
	エ 走り高跳び		○	○	○	5	5
D 水泳	基本的に今年度は扱わない。				10	1	
E ボール運動	ア ゴール型	ゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これに替えてハンドボール、タグラグビー、フラッグフットボールなどを指導することもできる	○	○	○	20	18
	イ ネット型		○	○	○	0	0
	ウ ベースボール型		○	○	○	0	0
F 表現運動	ア 表現	学校や地域の実態に応じてリズムダンスを加えて指導することができる	○	○	○	5	5
	イ フォークダンス(日本の民謡を含む)		○	○	○	4	3
G 保健	(1) 心の健康	授業時数は2学年間で16単位時間程度とすること	○	○	○	3	3
	(2) けがの防止		○	○	○	5	5

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。